

「チーム城中」

「人間力」を育み、「教師力」を高めよう

人間力

ーこんな生徒になってほしいー

『常に夢中』な

城中魂

(1) 自他ともに命を大切にする

- ア かけがえのない自分の命を慈しみ、同様に他人の命も大切にする。
- イ 自分自身の存在を肯定し、大きな声で「好きだ」と言える自分をつくる。

(2) 困難に立ち向かう粘り強さをもつ

- ア 将来の自分の姿を思い描き、直面する課題を自らの力で解決する力を身につける。
- イ 自分の立場や役割を自覚し、「今、為すべきこと」に最善を尽す。

(3) 当たり前のことが当たり前にやり抜く

- ア 人としての正しい道を歩み、誇りをもてる生き方を追求する。
- イ 相手の言葉を真摯に受け止め、自らを省みる素直な心を養う。

(4) 豊かな心を育む

- ア 美しいものや善きことに触れたとき、素直に感動し心をふるわせる感性を磨く。
- イ 相手の気持ちを理解し、思いやりあふれる行動と感謝の心をもって接する。

(5) 確かな学力を身につける

- ア 授業に集中し、教科の学習内容を確実に身につける。
- イ 教えられるのを待つのではなく、自ら問いを見つけ、学び続ける主体性をもつ。

教師力

ーこんな先生になってほしいー

『常に夢中』な

城中愛

(1) 謙虚である

- ア 「教師と生徒」である前に、「人與人」であることを自覚し、誠実に接する。
- イ 「主役は生徒である」ことを念頭に、相手の思いを最後まで真摯に聴く姿勢をもつ。

(2) 広く大きな心をもつ

- ア 生徒に教えるだけでなく、生徒から学ぼうとする謙虚な姿勢を常に忘れない。
- イ 全体の状況を俯瞰し、生徒のやる気を引き出し「その気にさせる」言動に努める。

(3) 伝わる言葉をもつ

- ア 明るい笑顔を絶やさず、優しさと温かみあふれる言葉で語りかける。
- イ 聞き手の立場に立ち、時に諭し、時に夢を語ることで生徒の心に響かせる。

(4) 繊細な観察力と意図的な鈍感力を併せもつ

- ア 一人一人の些細な変化に気づき、状況に応じた適切な声かけを行う。
- イ 教育的な配慮に基づき、あえて「気づかない振り」をする度量をもつ。

(5) 自信をもって授業に臨む

- ア 絶えず授業研究に励み、教科の基礎・基本を確実に身につけさせる。
- イ 生徒がわくわくする授業を創造し、その教科が「好きだ」と言える生徒を一人でも多く育てる。

(6) 「チーム城中」を合言葉に組織で対応する

- ア 「共感」「感謝」「チーム対応」を軸とした『チーム城中』を合言葉に、確かな「学びの文化」を根づかせる。
- イ 城中生徒会三本柱（「挨拶・合唱・生徒会活動」）を尊重し、「あいさつ」「歌声」「笑顔」「思いやり」「感謝」が溢れる学校づくりに努める。

「城中魂」あふれる生徒のそばには、いつも温かく広い心で寄り添う教師がいる。
その教師を支えるのは、「城中愛」に満ちた『チーム城中』の揺るぎない絆である。